

平成 29 年度 秩父地域森林活用等創出支援事業 活動状況報告書

親子森林環境教育 (H27)

長瀬やなせ・こびすの会

事業の目的・内容

長瀬・矢那瀬地域の森林等で、子どもと大人がいっしょに森の仕事についてリクレーションを通じて体験する環境教育学習活動を取り組んでいます。

「森の達人」の指導のもと、安全な埼玉県での森林体験を行うことで、災害などにあった他県家族と地域の家族とが子どもと一緒に交流し、自然の大切さを体験的に学ぶ活動です。

具体的には、ツリークライミングやカヤック体験をとりいれ、森林と里山の仕事や暮らしについてお話を聞いたり感想を出し合ったりして、思い起こし、思い出残しをプロジェクターニングツリーのカリキュラムをとり入れて行うものです。

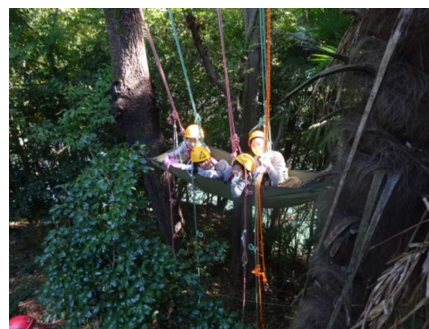
今までの活動状況



【6月12日体験会】



【7月2日体験会】



【10月29日体験会】

平成 27 年から、地元の法人やボランティア団体（「カラッポの会」等）、行政窓口と連携し、参加者を募集広報し実施してきました。昨年は、3 回体験プログラム応募が成立しました。

平成 29 年次企画については、残念ながらさまざまな事情で他県からの訪問者が一時的に減少しました。応募者が極端に少なく、インストラクターの都合等もあわず、残念ながらプログラムはすべて中止しました

期間中、他県から見た家族については、保養の家「カラッポのおうち」（長瀬町矢那瀬）で埼玉の家族との交流、秩父地域で活動する他団体の体験活動を紹介するなど、実情に合わせて対応する活動にとどまりました。



これからの活動・行事

平成 30 年次計画では、インストラクターと応募者との日程の齟齬が生じないように相談して募集を進めます。また、使われていない畑地での麦栽培などを取り入れた身近でできる里山回復体験活動をプログラムに組み入れる準備を始めています。

具体的行事が決まり次第、広報したいと思います。



【活動フィールドとして麦蒔き準備中の畑地】